

第九十回
帝國議會
貴族院

林業會法案特別委員會議事速記第一號

付託議案
○林業會法案

委員氏名

委員長 子爵北條 喬八君
副委員長 男爵松平外與磨君
公爵三條 實春君
侯爵池田 宣政君
伯爵前田 利男君
子爵西大路吉光君
子爵加藤 泰通君
子爵青木 重夫君
子爵青木 保美君
白澤 松吉君
小山 義履君
男爵佐竹 三郎君
男爵平山洋三郎君
男爵前島勘一郎君
竹下 豐次君
松尾 國松君
田部長右衛門君
田中藤右衛門君
齋藤萬壽雄君
杉山 茂君

昭和二十一年九月三十日(月曜)
午後一時十七分開會

○委員長(子爵北條喬八君) ソレ

デハ只今カラ林業會法案ノ特別委員
會ヲ開會致シマス、先ツ政府當
局ノ法案ノ提案理由ノ説明ヲ求メ
マス、チヨット速記ヲ止メテ

〔速記中止〕

○委員長(子爵北條喬八君) 速記ヲ
始メマス、農林大臣

○國務大臣(和田博雄君) 林業會

法案ノ提案ノ趣旨ノ大要ニ付キマ
シテハ本會議ニ於キマシテ御説明
申上ゲマシタノデ、内容ニ付キマ
シテ補足シテ御説明致シタイト思
ヒマス、本法案ノ骨子ハ森林所有
者ノ團體デアリマスル森林組合ト
木材業者、其ノ他林産關係業者ノ
團體デアリマスル林産組合トヲ以
テマシテ林業會ヲ組織致シマシ
テ、此ノ自主的ナ、系統的ナ團體
ノ自主的ナ活動ニ依リマシテ、森
林ノ造成ト林産物ノ生産ノ確保ト
配給ノ適正トヲ圖ルト云フ點ニア
ルノデゴザイマス、森林組合ニ付
キマシテハ現行ノ森林法ノ規定ニ
依ツテ居リマスルノデ、本案ノ内
容ト致シマシテハ主トシテ林業會
ト林産組合トノ組織ニ關スル規定
ガ大部分トナツテ居リマス、法案
ノ内容ニ付テ以下御説明ヲ致シタ
イト思ヒマス、第一條カラ第六十
五條迄ハ林業會ニ關スル規定デゴ
ザイマス、林業會ハ林業ノ發達ト
林産物ノ生産ノ増強、配給ノ適正
ヲ圖リマスルコトヲ目的ト致シマ
シテ、之ガ爲メ林業ノ指導獎勵等指
導團體トシテ一般のナ事業ト共
ニ、林産物ノ自治統制ニ關シマス
ル事業ヲ行フモノデゴザイマス、

林業會ハ都道府縣單位ニ、及ビ全
國單位ニ之ヲ設立致シマシテ、其
ノ構成員ハ都道府縣ニ於キマシテ
ハ都道府縣ノ森林組合聯合會ト、
此ノ法律ニ依リマシテ新タニ設立
サレマスル都道府縣ラ地區ト致シ
マスル林産組合トデゴザイマスル
ガ、尙此ノ以外ニモ林業ニ密接ナ
關係ヲ持ツテ居リマスル事業ヲ營
ミマスル者ガ加入出來ルト云フコ
トニ致シテ居リマス、林業ノ發
達、林産物ノ生産ノ増強ト適正ナ
配給ヲ行ヒマスル爲ニハ森林ノ所
有者ト、ソレカラ林産業者、特ニ
木材業者トガ十分ニ連絡提携スル
コトガ實ハ必要ナノデゴザイマシ
テ、其ノ爲ニ是等ノ關係業者ヲ以
テマシテ都道府縣單位ニ林業會ヲ
構成スルト云フコトガ極メテ有效
デアルト斯ウ考ヘルノデゴザイマ
ス、全國單位ノ林業會ハ都道府縣
ノ林業會ヲ構成員ト致シテ設立サ
レルノデアリマスガ、之ニ付キマ
シテモ其ノ外ニ木材ノ加工業者ト
云ツタヤウナ林業ニ密接ナ關係ノ
アリマスル事業ヲ營ム者ガ加入出
來ルト云フコトニ致シマシテ、林
業關係ノ者ガ一團トナツテ林業ノ
發達ニ努メルト、斯ウ云フ體制ニ
ナリマスルコトヲ本案ハ期待ヲ致
シテ居ルノデアリマス、ソレト共
ニ公正ナ生産配給計畫ノ實施ニ積

極的ニ協力スルト云フコトヲモ特
別ニ期待ヲ致シテ居ルノデゴザイ
マス、日本林業會ハ林産物ノ生
産、配給、消費及ビ價格ニ關シマ
スル施策ニ付キマシテ、政府ニ對
シマシテ意見ヲ申述ベルコトガ出
來ルコトニ致シタノデアリマス
ガ、之ニ關聯シマシテ日本林業會
ニハ林業委員會ト云フモノヲ設ケ
ルコトニ致シマシテ、林業會ガ政
府ニ對シテ意見ヲ申述ベマスル際
ニハ、豫メ必ズ之ニ諮問ヲ致シマ
シテ、サウシテ其ノ意見ヲ徵スベ
キモノト斯ウ云フコトニ致シタノ
デゴザイマス、日本林業會ハ林産
物ノ生産配給ニ關シマシテ自治的
統制ノ機能ヲ與ヘラレルコトヲ豫
想致シテ居ルノデアリマスルノ
デ、之ニ付キマシテハ生産、配給
業者ノ外ニ廣ク需要者等ノ關係者
ヲモ含メマシタ委員會ノ意見ヲ徵
スルコトガ適當ト存ジマシテ、其
ノヤウニ致シタノデアリマス、第
六十六條乃至第八十二條ニ於キマ
シテハ林産組合ニ關スル規定ヲ設
ケテ居リマス、林産組合ハ特別ニ
特色ノアリマスル團體構成デハア
リマセヌガ、林業會ノ下部機構ト
致シマシテ、木材業者等ノ林産業ノ
改良發達ト林産物ノ生産ノ増強ト
配給ノ適正ヲ圖ルコトヲ目的ト致
シマシテ、林産業ノ指導獎勵及ビ

生産配給ニ關シマスル割當ト云ツ
タヤウナ自治統制ノ事業ヲ行フ團
體トシマシテ、林産物生産、販賣
業者等ヲシテ、是ハ業種別ニ設立
セシメル積リデアリマス、第八十
三條乃至第八十五條ハ罰則ノ規定
デゴザイマス、附則ニ於キマシテ
ハ第八十七條、第八十八條ガ木材
統制法ノ廢止、日本木材株式會社
及ビ地方木材株式會社ノ解散ト清
算ニ關スル規定デアリマス、地方
木材株式會社ノ中ニハ、本法ノ成
立ヲ待チマセヌデ、目下解散、清
算ヲ爲シツ、アルモノモ相當ニゴ
ザイマス、併シ種々ノ事情ニ依リ
マシテ手續ノ遅レマシタ場合ニ
ハ、本法ニ依リマシテ清算ヲ早メ
ルコトガ出來ルヤウニ致シマシ
テ、會社ノ圓滑ナ解體ヲ期待致シ
テ居ルノデアリマス、第八十九條
トハ木材統制法ニ依リマスル、木
材業、製材業ノ許可制度ノ存續ニ
關スル規定デアリマシテ、是ハ自
治統制ヲ圓滑ニ運行セシメマスル
上カラ考ヘマシテ、尙當分ノ間存
續致シタ方ガ適當ダ、斯様ニ思フ
ノデゴザイマス、其ノ期間ハ大體
經濟安定本部ノ存續スル期間、斯
ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、
第九十一條乃至第九十七條ハ現存
シマスル團體ガ本法ノ團體ニ移行
シマスル場合ニ便宜ナヤウニ經過

的ナ措置ヲ規定シタノデゴザイマス、尙施行ノ細目ニ付キマシテハ、是ハ勅令ヲ以チマシテ規定致スコトト致シマシタ、以上ガ本法案ノ内容ニ付キマシテノ大體デゴザイマスルガ、次に衆議院ニ於キマシテ修正セラレマシタ點ニ付キマシテ御説明申上ゲタイト思ヒマス、先ツ第一條第二項中ニ林産物ヲ定義致シマシテ、木材その他森林から産出する物で主務大臣の指定するものト斯ウアリマスルヲ、木材ノ次ニ薪炭ヲ加ヘタノデゴザイマス、薪炭ハ是ハ皆御承知ノヤウニ木材ト並ビマシテ、林産物ト致シマシテハ、極メテ重要ナモノデゴザイマシテ、政府ト致シマシテハ、本法案ノ運用上ハ差當リ木材ノミニ付キマシテ、林業會、林産組合ノ自主的ナ機構ヲ以テ統制致シテ參リマシテ、薪炭ハ現在ノ機構ヲ當分其ノ儘維持致シマシテ、本法案ニ包含致シマスル時機ハ別ニ機會ヲ見テ定メルト云フ考デ進シタノデゴザイマスルガ、何レソレハ指定スルモノデアリナラ、此ノ際法文中ニ明記シテモ差支ナイノデヤナйкаト云フ御意見ガゴザイマシテ、此ノ御意見モ御尤モデゴザイマスノデ、之ニ同意ヲ致シタ次第デアリマス、併シナガラ薪炭統制機構ニ付キマシテハ、當分現狀ヲ維持致シマシテ、其ノ生産配給ニ支障ノナイヤウニ致シタイト存ジテ居ルノデゴ

ザイマス、次に第九十一條ノ修正ハ、日本林業會ガ成立致シマシタ場合ニ、現在ノ社團法人日本林業會ノ權利義務ヲ承繼致スノデゴザイマスガ、假ニ社團法人日本林業會ノ資産ガ赤字ヲ生ジタ場合ニハ、新ラシク今度本法案ニ依ツテ發足シマスル日本林業會ガ之ヲ背負ツテ行カナケレバナラヌト云フコトハ適當デナイト云フ意見ガゴザイマシテ、日本林業會ハ舊林業會カラ承繼シタ債務ニ付テハ、承繼ニ依ツテ得タ財産ノ限度ニ於テノミ其ノ辨償ノ責ニ任ズルコトト修正セラレタノデゴザイマス、第九十八條ニ森林法ノ一部改正ノ規定ヲ設ケタノデゴザイマスルガ、是ハ森林組合聯合會及ビ森林組合ニモ林業會ノ下部組織ト致シマシテ、林産組合ト共ニ林産物ノ需給調整ニ關シマスル事業ヲ行ハセルコトハ、實ハ是ハ現行法上既ニ可能ナノデアリマスルガ、之ヲ衆議院ニ於キマシテハ、此ノ點ヲ誤解ノナイヤウニハツキリ書イテ置イタラドウダト斯ウ云フコトガゴザイマシタノデ、此ノ點ハ特ニ誤解ノナイヤウニ書キ加ヘルコトニ致シタノデゴザイマス、以上ガ大體本法案ノ内容ノ骨子デゴザイマスルガ、何卒十分御審議ノ上、速カニ御可決アラムコトヲ希望スル次第デアリマス

○委員長(子爵北條高八君) 是ヨリ質疑ニ移リタイト思ヒマスガ、其ノ前ニ此ノ審議上何カ參考トナル資料ノ御要求ガアリマスレバ御申出ラ願ヒタイト思ヒマス

○竹下豐次君 資料ノ提出ヲ御願ヒ致シマス、森林組合ノ數ヲ幾ツアリマスカ御願ヒ致シタイト思ヒマス、全國デハソレカラ二或ハソレ以上ノ森林組合ガ聯合會ヲ組織シテ居ル所ガアルト思ヒマスガ、其ノ聯合會ガ幾ツアリマスルカ、ソレカラ三番目ニ森林組合デ木材ノ伐出業ヲ營ンデ居ル組合ガ幾ツアリマスカ、ソレカラ第四ニ森林組合デ製材業ヲ營ンデ居ルモノガ幾ツアリマスカ、ソレカラ第六番目ニ森林組合自身デ造林ヲ致シテ居ル組合ガ幾ツアルカ、第七番目ニ森林組合ガ自分デハ造林ハシテ居ナイケレドモ、山林所有者ガ造林スル場合ニ、或ハ其ノ人夫ノ世話ヲスルトカ、或ハ苗ノ世話ヲスルトカ云フヤウナ仕事ヲシテ居ル組合ガ幾ツアリマスカ、ソレガ森林組合ニ關スル資料ノ希望デゴザイマス、ソレカラ外ニ昭和十二年以降今日迄ノ伐採木材量ガ何石アリマスカ、ソレカラ其ノ面積ガドノ位ニナツテ居リマスカ、ソレカラ植林シマシタ面積ガドレダケアルカ、是ダケヲ御願ヒ致シマス

○委員長(子爵北條高八君) 他ニ御要求ハアリマセムカ、ソレデハ質疑ニ入りマス

○竹下豐次君 木材ノ需給關係ガ希望通りニ行ツテ居ナイト云フコトハ申上ゲル迄モナイコトデアリマスガ、來年度以降約五ヶ年間位ノ木材需給ノ見透シニ付キマシテ御説明ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○政府委員(中尾勇君) 私カラ御答ヘ致シマス、木材ノ需給關係ガ極メテ逼迫狀況ニアルコトハ只今仰セノ通りデアリマスルガ、今後ノ見透モ只今ノ所ナカク、憂慮スベキ狀態ニアルデアリマス、最近ニ於キマシテ木材ノ需給關係ニ付テ極ク簡單ニ申上ゲマス、十九年度迄ハ約一億萬石近イ生産モ出來テ居リマス、大體ニ於キマシテ需要ヲ充タシ得タノデアリマスルガ、前年二十年度ニ於キマシテハ戰爭ガ苛烈ニナリマスニ伴ヒマシテ、徵用、或ハ應召等ノ爲ニ勞力ノ不足ヲ來タシ、又食糧事情ガ相當惡化シテ參リマシタ爲ニ、二十年度ノ前半ニ於キマシテモ十九年度ノ實績ト較ベマシテ大體七割程度ノ生産シカ出來ナカッタノデアリマス、其ノ後終戰ト共ニ、社會的、思想的ノ混亂ノ爲ニ木材ノ生産モ殆ド十九年度ノ實績ト較ベマシテ半分ノ狀態ニ低下致シタ參ツタノデアリマス、二十年度ノ年度末ニ於キマシテモ生産實績ハ生産豫定量ノ一億萬石餘ニ對シマシテ六千五百萬石程度ノ實績ヲ收メタニ過ギナカッタノデアリマス、尙本年度ニナリマシテカラハ、本

年度ノ生産ノ豫定ハ約七千五百萬石ヲ目標ト致シマシテ、只今生産ニ努力致シテ居ルノデアリマス、併シ前年度末カラ引續キマシテ食糧事情ノ惡化其ノ他小運送ノ逼迫等ノ爲ニ、今年度ニナリマシテカラモ生産事情ハナカク、上向トナツテ參リマセムデ、第一四半期ニ於キマシテ大體前年同期ノ七十四「パーセント」程度ノ實績ヲ收メタノデアリマス、七十四「パーセント」ト申シマス、數量デ申シマシテ千四百萬石程度ニ相成ルノデアリマス、此ノ儘ノ狀態デ推移致シマスナラバ、本年度ノ七千五百萬石ノ生産豫定モナカク、容易デハナイ實情ニアルノデアリマシテ、政府ト致シマシテハ之ガ爲ニ色ト對策ヲ講ジ又今回提案ヲ致シマシタ此ノ法案ニ依リマシテ、自主的統制ヲヤリ、之ニ依ツテ業者ノ創意工夫ヲ昂メマシテ、生産増強ニ努力スル方針デ只今實行ヲ致シテ居ルノデアリマス、以上ノヤウナ生産狀況デアリマスルノニ反シマシテ、需要ノ方ハドウデアアルカト申シマス、本年度最初ニ豫定致シマシタノハ、重要用途ノモノダケデ七千二百萬石程度ニ相成ツテ居ルノデアリマス、實ハ要求ハ一億一千五百萬石程度アツタノデアリマスルガ、生産狀況ガ以上申述ベマシタヤウナ事情ニアリマスル爲ニ、極力重要用途材タケノ需要ニ止メルコトニ協議致シマシ

テ、先刻申上ゲマシタ七千二百萬石程度ノ供給ヲ見込シテ居ルノデアリマスガ、生産狀況ガ以上申上ゲマシタヤウナ狀況デアリマスル爲ニ、此ノ供給ノ方モ只今ノ所餘リ芳シクナイ成績ニ相成ツテ居ルノデアリマス、八月迄ノ實績ニ付テ申上ゲマスト、第一四半期ハ先程申上ゲマシタノデスガ、生産デハ是ハ半年分ノ豫定ニ對シマシテ六割程度ノ生産ニ相成ツテ居リマス、又配給ハ是モ半年間ノ數量ニ對シマシテ四割程度ノ配給ニ相成ツテ居ルノデアリマス、是ハ各全部ノ用途ヲ含メタ數量デアルノデアリマス、以上ノヤウナ狀態デアリマシテ、政府ト致シマシテハ此ノ配給量ノ増加ニ付キマシテ色々ト對策ヲ講ジ努力致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙以上ノヤウナ關係ニアリマシテ、内地ノ森林カラ生産致シマスモノダケデ此ノ需要ヲ全部賄フト云フコトハナカナ困難ナ實情ニモアリマスルノデ、只今外材ノ輸入ニ付キマシテモ計畫ヲ立テマシテ、懇請ヲ致シテ居ルヤウナ實情デゴザイマス、外材ノ輸入ニ付キマシテハ今年ノ十二月迄ニ約百五十萬石、又來年ノ一月カラ十二月迄ニ約二千萬石ノ輸入ヲ懇請致シテ居ルノデアリマス、是レダケノ輸入ガ若シ出來ルト致シマスレバ、需給ノ狀況ハ大體「バランス」ガ取レルヤウニ存ズルノデアリマスガ、唯内地ノ

森林カラノ生産量ダケデハナカナカ其ノ見透シガ付カナイヤウナ實情ニアルノデアリマス、デ大體内地ノ森林カララドレ位伐採出來ルカト云フ其ノ見透シト申シマスカ、大體ノ概要ニ付テ御説明致シマス、唯内地ノ森林ト申シマシテモ私有林關係ニ於キマシテ施業案ノ編成済ハ約三割程度デアリマシテ、アト七割ガ施業案ノ編成未済ト云フヤウナ關係ニアリマスル爲ニ、資材ガハツキリシタモノガアリマセヌノデ、確タルコトハ申上ゲ兼ネルノデアリマスルケレドモ、從來ノ統計ニ依リマシテ大體ノコトヲ豫想致シマス、北海ノ道、内地ノ森林ニ於テ戰爭前所有シテ居ツタ蓄積ハ大體六十七億石ト稱サレテ居ツタノデアリマスルガ、戰爭中ニ於テ相當ノ過伐ヲ蒙ツタ爲、只今大體六十億程度ノ蓄積ガアルノデハナカラウカト推察セラレルノデアリマス、處ガ其ノ六十億ノ蓄積モ其ノ中約三分ノ一ノ二十億程度ハ利用不可能ナ位置ニアル蓄積デアリマシテ、大體六十億ノ中利用可能ノ材積ハ四十億程度ノモノデハナイカト云フ風ニ想像セラレルノデアリマス、然ルニ一方伐採量ノ點カラ考ヘテ見マスト、戰爭中ニ於テハ年々伐採シタ數量ハ四億石ヲ超過致シテ居ルノデアリマス、本年度ノ豫定ニ致シマシテモ用材ガ一億石、薪炭材デ二億五千萬石、合計三億五千

萬石程度ノ伐採ヲ豫定致シテ居ルノデアリマス、處ガ其ノ利用可能ノ四十億ノ蓄積ヲ基礎トシタ成長量ヲ考ヘテ見マスト、相當大キク見積ツテモ大體二億石程度デヤナイカト考ヘラレルノデアリマス、サウ致シマス、本年度ノ三億五千萬石ヲ伐採スルニ致シマシテモ一年間ニ一億五千萬石カラノ過伐ト云フコトニナルノデアリマシテ、結局此ノ一億五千萬石ヅツ資本ニ喰込ム形ニ相成ルノデアリマス、此ノ狀態デズツト續ケテ行キマシテハ、内地ノ森林ダケデハ十數年ヲ出デズシテ禿山ニナルト云フヤウナ狀態ニナリマスルノデ、實ハ先刻申上ゲマシタヤウニ一方ニ於キマシテ外材ノ輸入ヲ只今懇請致シマシテ、此ノ需給ノ「バランス」ヲ取リタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、假ニ本年度ノ三億五千萬石ヲ今後三箇年間連續伐採致スト假定致シマス、四年後カラハ大體伐採可能量、可能量ト申シマス、伐採ノ四年以後永久ニ保續致シマス爲ノ標準ノ伐採量ハ一億七千五百萬石程度ニ低下スルノデアリマシテ、現在ノ伐採量ノ約半重トナル譯デアリマス、サウ云フ風ニ今年ト同ジク伐採致シマシテ、今後三年間伐採致シマシテモ、伐採量ヲ半分ニシナケレバナラヌト云フヤウナ狀況ニ相成ルノデアリマス、一億七千五百萬石ノ伐採量ト申シマス、大

體昭和十年以前ノ伐採量ニ相成ルノデアリマシテ、其ノ當時内地ノ森林伐採致シマシタノハ、大體用材デ四千萬石程度デアリマシタ、其ノ他ガマア薪材ニナツア居リマスルガ、用材ノ需要量ハ七千萬石程度デアリマシタノデ、其ノ差ノ二三千萬石ト申シマス、矢張り外材ノ輸入、或ハ外地材ノ輸入ニ依ツテ賄ツテ來タノデアリマス、サウ云フ關係ニアリマスルノデ、今後ドウシテモ外材ノ輸入ガ出來ルヤウニナリマセヌト、此ノ需給關係ハウマク行カナイデヤナイカト云フ風ニ考ヘラレマシテ、此ノ點非常ニ憂慮致シテ居ル次第デアリマス

○竹下豐次君 詳シイ御説明ヲ承リマシテ大體分リマシタ、先ノアノ生産需要量ノ御説明ノ中ニハ、進駐軍ノ分モ含シテ居ルノデアリマス

○政府委員(中尾勇君) 含シテ居リマス、素材ニ換算致シマシテ約一千萬石程度デアリマス

○竹下豐次君 ソレカラ御説明ノ中ニ、戰前六十億石ト云フ御話ガゴザイマシタガ、戰前ト云フノハ太平洋戰爭前デゴザイマス、日華事變前デゴザイマス、ドチラデゴザイマス

○政府委員(中尾勇君) 事變前デゴザイマス

○竹下豐次君 現在ノ保有量ガ約六十億、其ノ中ニ伐採ニ適スルモ

ノガ約四十億ト云フ御話ガゴザイマシタガ、其ノ中ニハズツト奥山デ、手ノ著ケラレナイト云フヤウナ分ハ矢張り含シテ居ル譯デアリマス

○政府委員(中尾勇君) 手ノ著ケラレナイヤウナ、マア利用ガ出來ナイモノト致シマシテ、二十億石ヲ差引イテ居ルノデアリマス

○竹下豐次君 左様デゴザイマス、分リマシタ、ソレカラ戰出昭和十年頃需要ガ約七千萬石デアツテ、サウシテ内地デソレニ應ズルダケノモノガナイ、四千萬石ダケシカ出來ナカツタ、二千萬石位ハ米國等カウ輸入シテ居ツタト云フ御話デアリマシタガ、現在及ビ此ノ後ノ需要ト云フモノハ、遙カニ七千萬石ヲ超シテ居リマスルノデ、此ノ後輸入ヲ仰グト云フコトニスル其ノ量ト云フモノハ、昭和十年デサハ二千萬石モ入ツテソレデモマダ足りナカツタ譯ナンデスカラ、ドウシテモ六七千萬石位ツウ入ツテ來ナケレバナラナイト需要ニハ應ゼラレナイト云フ計算ニナルノデスガ、サウ云フ風ニ了解シテ宜シイデセウカ

○政府委員(中尾勇君) 大體需要量ガ本年度ハ緊急需要ダケノ七千二百萬石ニ押ヘマシタガ、大體來年度カラノ需要量ハ九千萬石程度ノ最低ノ需要量ヲ見テ居リマス

○竹下豐次君 戰前昭和十年頃七千萬石ノ需要ガアツタノニ、來年

度カラ九千萬石デハ見積リガ少シ
少ナ過ギル、ソレデ戰災デ燒ケタ
所ガ復興出來ル譯ナンドス

○政府委員(中尾勇) ソレデ御
尤モナコトカト存ジマスルガ、差
當リ輸入量ノ方モ輸送關係或ハ港
灣荷役ノ關係等ヲ考ヘマシテ、マ
ア二三千萬石程度ト只今考ヘテ居
ルノデアリマス

○竹下豐次君 サウシマスト云フ
ト、足りナイケレドモ、希望通り
入ル見込ガナイカラ、マアソレデ
我慢スルヨリ外仕様ガナイ、斯ウ
云フコトニナルノデスネ、ソレカ
ラ米國……外國ノコトハ私共存ジ
マセヌノデスケレドモ、チヨット
噂ニ聞キマスルト云フト、合衆國
ノ方モモウナカ……木ヲ伐ツテシ
マツテ、自分ノ山ヲ伐ツテモ、自
分ノ國ノ用ヲ充タスニモ苦シイ、
隣リノ「キヤナダ」アタリカラ貰
ハナケレバナラヌトカ、貰ツテ居
ルトカ聞イテ居リマスガ、サウシ
マスト、米材ヲ二三年間續ケテ日
本ニ御實ヒニナルト云フコトハ御
見透シハドウナルノデセウカ

見ヨウト云フ御話デアリマシテ、
其ノ點マダハツキリ致シマセヌ、
マア其ノ問題ハ此ノ位ニ致シマシ
テ、森林組合ノ問題デアリマス
ガ、色々資料ヲ戴キマシテカラ御
尋スルノガ本當カト思ヒマスケレ
ドモ、今急ニ提出シテ戴キタイ
思ツテモ御無理ト思ヒマスカラ、
ソレハ後デ戴キタイト思ヒマス、
森林組合ガ大體多數出來マシタノ
ハ、「アメリカ」ト戦争ガ始ツタ
頃、其ノ少シ前カラデシタカ、昭
和十五年頃ガ手初デアツタト言
ツテ宜シイト思ヒマスガ、其ノ後
今日迄ノ森林組合ノ活動狀況ヲ見
マスト云フト、殆ド極端ニ言フナ
ラバ活動シテ居ナイ、何ヲ働イタ
カ、ドウ云フ仕事シタカト云フ
ナラバ、地方木材會社ト一緒ニナ
ツテ、木ノ伐リ出シヲ援助シテヤ
ルト云フコトノミデアリマシテ、
其ノ他ニ仕事ラシイ仕事ラシテ居
ル組合ト云フモノハ、全國的ニ見
テホソノ數ヘル程シカナイト云フ
ノガ實情カト思ツテ居リマス、是
デハ何ノ爲ニ森林組合ガアルノ
カ、森林所有者ノ立場カラ申シマ
スルト云フト、山林ヲ賣却シテ、
立木ヲ賣却シテ、其ノ賣却代金ノ
四「パーセント」或ハ五「パーセ
ント」ナリノ手數料ヲ森林組合ニ
納メルト云フダケデアリマシテ、
大シタ造林ノ世話ラシテ呉レル譯
デモナシ、其ノ外マア世話ニナツ
テ居ルト云フコトハ非常ニ少イ譯

ナンデアリマス、是デヤ甚ダ困
ル、何トカシテ立派ナ組合ニ仕上
ガナケレバナラナイ、是ハモウ國
土保安ノ面カラ見マシテモ、又將
來ノ森林所有者ノ利害關係カラ見
マシテモ議論ノ餘地ノナイ點ダト
思ツテ居リマス、處ガ今日迄政府
始メ地方廳アタリガ森林組合ニ導
シテ、ドウ云フ態度ヲ執ツテ居ラ
レタカト云フコトモ、極ク不遠慮
ニ批評致シマスルト云フコト、ド
ウモ力ガ入ツテ居ナイ、少クトモ
木材會社ニ對スル力ノ入レ方トハ
雲泥ノ差ガアル、マア抛リツ放シ
デアル、モウ少シ力ヲ入レラレタ
ナラバ造林モ手入レモモウチヨツ
ト良クナツテ居ル等ダト思ツテ居
リマスガ、ソレガ實際ヤリツ放シ
ノ所ガ多イノデアリマス、デ今度
此ノ法案ヲ提出サレマシテ、其ノ
林業會ノ會員ニ森林組合ノ聯合會
モ入ツテ來ルコトニナツテ居リマ
ス、木材業者等ノ組合ト並ンデ有
力ナ會員デアルヤウニ御指導ニナ
ルコトダラウト思ツテ居リマス
ガ、此ノ後森林組合ヲドウ云フ風
ナ方法デ助長スルト云フ御考デガ
ザイマスカ、其ノ御計畫ヲ具體的
ニ御伺ヒ申上グタイト思ヒマス

○政府委員(平川守君) 御話ノ如
ク森林組合成立致シマシテカラマ
ダ日ガ淺イ關係モゴザイマシテ、
十分ナル活動ヲ致シテ居ラナイト
存ジマス、今回ノ林業會法ニ付キ
マシテモ、林業會ノ一方ノ重要ナ
ル構成員ト致シマシテ、森林組合
聯合會ヲ之ニ參加セシメマシテ、
先ヅ木材其ノ他林産物ノ自主的統
制ナドニ於キマシテ、林産業者ノ
組織致シマス林産組合ト相協力致
シマシテ、森林組合ノ方デ立木ノ
供出ト云フヤウナ面ニ於キマシテ
ハ、自主的ニ統制ヲ圖ルト云フヤ
ウナ組織ヲ作ルト云フコトニ考ヘ
テ居ルノデゴザイマス、尙森林組
合ノ助長ニ付キマシテハ色々方
策ガアラウカト存ジマスガ、差當
リ先ヅ技術員等ヲ充實スルコトガ
相當重要デハナカラウカト考ヘマ
ス、之ニ付キマシテハ本年度ノ豫
算ニ於キマシテモ、七八百萬圓位
ノ經費ヲ計上致シテ、技術員ノ設
置ニ付テ考ヘテ居リマス、尙其ノ
外森林組合ノ各種ノ事業ニ付キマ
シテハ、之ヲ應援致シマシテ、戰
時中木材統制ノ面カラ致シマシ
テ、一部分森林組合ニ對シテ制限
的ナコトヲ致シタコトモビザイマ
ス、斯ウ云フ面ハ出來得ル限り速
カニ之ヲ廢止シマシテ、森林組合
ニ對シテ、例ヘバ製材等ノ面ニ對
シマシテモ、活動出來ル面ニ付テ
ハ出來ルダケ一ツヤラセタイト云
フヤウニ考ヘテ居リマス

○竹下豐次君 此ノ今提出サレテ
居リマスル林業會法案ニ依リマス
ルト云フト、森林組合ト林業者ノ
組合ト、其ノ他ニ關係者ノ加入モ
出來ルヤウニナツテ居リマスガ、
兩立致シマシテ、同ジ範圍ノ仕事
ヲスルト云フコトニナツテ居リマ
スガ、唯私此ノ案ガ出來ル前カラ
平常考ヘテ居ツタコトデゴザイマ
スガ、出來得ベクンバ此ノ木材ニ
關スルコトハ、森林ニ關シマスル
コトハ、造林カラ販賣迄森株組合
デ一貫作業ト申シマスルカ、何モ
カモヤラセルノダ、別ニ其ノ外ニ
製材業者等ガ是ト並行シ、或ハ對
立シテ木材ノ需給ヲ行ツテ行ク必
要ハナイノデハナイカ、成ルベク
一貫作業ヲヤラセルノガ本筋デア
ラウ、斯ウ云フ風ニ理想的ニハ私
考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、唯
現在迄ノ狀況ヲ見マスルト云フ
ト、木材ノ取扱等ニ付キマシテハ
業者ノ方ガ慣レテ居リマスルシ、
森林組合ノ役員ナドハ大體素人筋
ガ多イノデアリマシテ、其ノ點ニ
不馴デアルト云フコトデ、戰時中
地方木材會社ト云フモノヲ作り、
或ハ今度又林産組合ト云フモノヲ
御作りニナツテ、其ノ方ニモ仕事
ヲサセルト云フコトハ、經過的ニ
已ムヲ得ナイコトカトモ思ヒマス
ケレドモ、將來ハ其ノ林産業者ナ
ドモ、矢張り森林組合ノ一部ニ取
込ンデ、斯ウ云フ仕事ハ全部森林
組合ノ仕事トシテヤラセルノダト
云フ方向ニ進マナケレバナラナイ
筋合ノモノデハナイカト、斯様ニ
考ヘテ居ルノデアリマスガ、政府
ノ方デハ何時迄モ矢張り此ノ二ツ
ノ團體ヲ並行シテ、木材ヲ取扱ハ
シメル方ガ宜イト云フ御考デアリ

マセウカ、ソレトモ私が今申シマシタヤウニ、行クハ森林組合ニヤラセルノダガ、當分已ムヲ得ナイノダカラ斯ウシテ置クト云フ御考ヘデアリマセウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイ

○政府委員(平川守君) 御話ノ如ク、森林組合ガ造林ノ所カラ販賣ニ至ル迄實行ガ出來マスレバ、是ガ矢張り理想ノ考ヘデハナカラウカト思ヒマス、唯實際問題ト致シマシテ、木材生産ノ事業ハ可ナリ困難ナ面ヲ持ツテ居リマス爲ニ、殊ニ現實ノ木材ノ需給ノ調整ヲ圖ルト云フヤウナ面カラ致シマスト一元的ニ森林組合ニ之ヲ任セルト云フコトハ、不可能デアルト云フ

風ニ考ヘマシテ、斯様ナ兩建ニ致シマシテ、將來ノ理想ト致シマシテハ、御話ノ通りカト考ヘマス

○竹下豐次君 理想トシテハ私ノ申述バマシタコトニ御同意下サイマシタノデスガ、サウシマス此ノ法ガ出來マシテ後ノ運営ニ付キマシテ、其ノ理想ニ到達スルコトノ成ルベク早クナルヤウニ、何カ特別ノ御骨折デモ下サルコトニナリマセウカ、唯モウジツトシテ置キマシタナラバ、寧ロ私ハ兩立シテ居ルコトニ依ツテ、森林組合ハ業者ノ組合ノ壓迫ヲ受ケルト云フ事實ガ生ズルノデハナイカト思ヒマス、サウシマス云フコト、森林組合ヲ助長シタイト云フ氣持ハ持ツテ居リマシテモ、今度ノ法案ガ

通過スルト云フト、却テ森林組合ト云フモノハ事實上ハ壓迫ヲ受ケル、競争ラシマス云フト、ドウモ先程申シマシタ通り素人ガ多イカラ負ケルダラウト思ヒマス、其ノ點ハドウ云フ風ニ、何カ特別ノ御考慮ガナイト云フト、森林組合ヲ今迄ヨリモヨク發展セシメル過程ニ進メテ行クト云フコトガ、此ノ法律ガ出來ル爲ニ困難ニナルト云フ感ジガスルノデスガ

○政府委員(平川守君) 森林組合ノ力ヲ付ケルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ法律ト云フ面カラ參リマスコトハ困難デハナイカ、寧ロ矢張り組合自身ト實力ヲ付ケテ參ルト云フ行政上其ノ他ノ手段ニ依リマシテ、先程申上ゲマシタヤウナ技術員ノ設置デアリマスカ、サウ云フ實際ノ方カラ助長シテ參リマシテ、ソレニ依ツテ力ヲ付ケテ、逐次力ガ付クニ從ヒマシテ、此ノ事業モ範圍ヲ擴ゲテ參ルト云フコトニ致サザラ得ナイダラウト考ヘテ居リマス、本法案ニ依リマシテ、逆ニ森林組合ガ壓迫ヲ受ケルデハナイカト云フ御心配デゴザイマスガ、其ノ御心配モ御尤モカト存ジマスガ、此ノ法案ニ於キマシテモ、其ノ點モ多少留意致シマシテ、此ノ林業會ニ於キマシテ色々ナ議決ヲ致シマス場合ニ、森林組合側ト林産組合側トノ表決權ト云フヤウナコトヲ考慮致シマシテ、此ノ兩者ノ表決權ガ對

等ニナルヤウニト云フ考慮ラシテ立案シテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ森林組合ガ本法案ニ依ツテ不當ナ壓迫ヲ受ケルト云フコトハ避ケ得ルノデハナカラウカ、唯ソレ以上ニ本法案ニ依ツテ森林組合ガ助長セラレルト云フ積極面ニ於テハ法律トシテハナカノ困難デナイカト、此ノ邊ハ一ツ先程申シマシタヤウナ事實上ノ行政上ノ運用ニ依リマシテ實力ヲ付ケテ參リタイト斯様ニ考ヘテ居リマス

○竹下豐次君 表決權等ノ問題デ兩方平等ニシテ居ラレト云フコトハ御尤モデ、ソレデ宜イヤウニ思ヒマスガ、實際所有主カラ山ヲ買入レルト云フヤウナ場合ニ、一方ハ玄人筋、一方ハ素人筋ト云フコトニナリマス云フト矢張り負ケルノデス、私ハサウ云フ點デ事實上壓迫サレル、サウキカラ申シマスヤウニ何モ彼モ此ノ際森林組合ガデヤレ、業者ノヤルコトハ止メルノダト云フコトヲ今直グヤルコトハ時期ガ早イカト思ツテ居リマス、併シ森林組合ノ將來ノ存在ト云フモノヲハツキリセシメルニハ、少クトモ伸ビテ行クトラ妨ゲルヤウナコトハ一切止メナケレバナラヌ、ソレニ付キマシテハ法律デ出來ルナラバソレガ一番ハツキリスルガ、出來ナカッタナラバ行政、處方行政部面デ實際ヤルト云フコトガ非常ニ骨ガ折レマス、地方ニ居リマシテモ知事初メ

部長、課長アタリノ氣持デスツカリ違ツテ行クヤウナモノデ、サツキカラ申シマスヤウニ、コ、數年間ト云フモノハ森林組合ニ關スル助長ト云フモノハ非常ニ少イノデアリマス、ソレデ其ノ點ハ今此處デ彼此レアナタカラ御聽キシヨウト思ツテ居リマセヌガ、特ニ一ツ念頭ニ置イテ戴キマシテ、力ヲ入レテ戴クヤウニ御願シタイと思ツテ居リマス、ソレカラ尙私自身モ實ハドウシタラ組合ガ能ク發展スルダラウカト云フコトニ付テ良イ智慧ノ持合セガアリマシテ政府御當局ニソレヲ申上ゲル譯デモゴザイマセヌガ、唯一ツ思ヒ付イテ居リマスルノハ、現在組合ノ單位ガ小サイノゴザイマス、是ハ法律デ決ツテ居ル譯デナイヤウデスケレドモ、一箇町村單位ガ原則デ、五百町歩モアツタラソレ單位ニナル、小サイトカ經營ガ困難ダツタラ聯合會ヲ拵ヘタラ宜イ、知事ノ認可ヲ受ケレバ宜イト云フコトニナツテ居ル、之ガ爲ニ森林組合ノ發展シナイ少クトモ一ツノ大キナ理由ニナツテ居ルノデヤナイカ、五百町歩ヤ六百町歩ノ山ヲ一ツノ組合ガ持つテ居ツテ、ソレデ組合ノ經營ガ立つテ行ケル答ノモデハアリマセヌ、少クトモ二十町歩カ三千町歩ナケレバ立つテ行ケナイト思ヒマス、ソレガ單位ノ決メ方ガ餘リ小サクナツテ居ル、而モソレガ經濟地域ト關係ナシニ

町村單位ト云フコトニナツテ居ルコトガ非常ニ邪魔ニナツテ居ル、ソレデ私ハ聯合會ト云フモノノ途ガ拓イテアルノダカラ、ソレヲウント獎勵シテ御作りニナレバ大變宜イノデハナイカ、經濟地域ト云フコトヲ考ヘ、サウスルト費用ノ節約モ出來マス、立派ナ技師ヲ、少クトモ一人ハ指導者ニナル地位ニナル人ヲ置クトガ出來マス、今ノ狀態ダト縣廳アタリデ養成シテ居リマス、二箇月三箇月、長クテ六箇月位教養シタ國民學校ノ卒業生位ノ者ヲ技師ト云フ名前デ森林組合デ使ツテ居ルガ、是デ施業案ハ固ヨリ出來ルモノデモナイシ、縣廳デ充テガツテモ固ヨリ實施モ出來ナイ、木ノ値段モ分ラズ、唯極端ニ言ヘバ月給ヲ貰ツテ居ルト云フヤウナコトニ陥リ易イ、ソレハ本人ノ惡口ヲ言フ譯デハアリマセヌ、制度ガサウナツテ居リマスノデ勢ヒサウナツテ居リマス、デハ聯合會ノ途ガ拓イテアルカラソレデヤレバ宜イデヤナイカ、行政ノ運用ト云フコトニナリマス譯デスガ、ソレモサウキ申シマシタヤウニ、地方ノ關係當局アタリガ斯ウ云フ問題ヲ能ク理解シ、熱意ヲ持つテ貰ヘバヤレルコトデアリマスガ、ナカノオヤリニナラヌ、サウキ統計表ヲ御願シテ置キマシタガ、恐ラク全國デ非常ニ少イダラウ、ソレデ出來得ベクナラバサウ云フ問題ナドハ唯行政上ノ運用デ

ヤレバ宜イノダト云フコトデナクシテ、モウ少シ法ノ建前カラ變ヘテ貰フト云フコトニスルト仕事ガシ易イノデス、凡ソ原則ハ行ヒ易イケレドモ、例外ト云フコトニナルト、ソレガ知事ノ認可ト云フコトニナルナカ、小面倒ニモ考ヘ、億劫ニ考ヘマス、縣廳ニ一ツ願書ヲ出スト云フコトガナカ、認可ニナラナイダラウ、其ノ規定ガ事實妨害スル譯デス、ソレデ經濟單位ガ、モウ少シ大キイ組合ヲ單位ニスルノダト云フコトヲ原則ニシテ貰ツテ、町村デモヤリ得ルモノハ一ツノ町村デモ宜イノダ、逆ナ建前ニシテ戴クコトガ必要デナイカ、是ハ私ハソレガ出來マシタナラバ餘程組合ノ助長ニ都合ガ好イノデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、其ノ點前ノ局長ノ時ニモ實ハ申上ゲタコトガアリマスケレドモ、御送りニナルモノデスカラツイ結末迄承ルコトガ出來マセヌデ今日迄其ノ儘ニナツテ居リマスガ、一ツ御考ヘ置キヲ願ヒタイ

○政府委員(平川守君) 誠ニ御尤モノ御意見ト存ジマスノデ、今回ノ林業會法ニ於キマシテ林産組合ノ區域ヲ規定致シマスル際ニハ市町村ト云フヤウナコトヲ致サズニ決メテ居ルノデアリマス、實際問題トシテ御意見ノヤウナコトハ誠ニ御尤モト存ジマス、將來若シ森林組合ニ關スル森林法等ヲ改正スル機會ガアリマスレバ、一ツ十分考慮シタイト思ヒマス

○竹下豐次君 森林組合改正ノ機會ガアレバト云フ御話デアリマシタガ、モウ少シ突込シテ御答ヲ欲シイノデス、實ハ私ハ森林組合ニ關スル規定ガ森林法ノ一章ダケニボツツ人ツテ居ル森林法ナルモノガワカシイ、是ハ警察關係ノ取締ノ關係ノ法律ガ多イ、木ニ竹ヲ接イダヤウナ、チヨツト古い法律デスカラ、其ノ當時ハ大シタ氣ニモ付カナカツタ問題デ、イヤ、マアト云ツテヤウタノカモ知りマセスガ、今ニナツテ考ヘルト、チヨツト形モ整ハナイ法律デナイカト思ヒマス、是ハ色々考ヘモ違ヒマスルガ、私ハサウ云フコトデ出來得ベクナラバ、少クトモ森林組合ニ關スルモノハサウ云フ助長ノ方ハ別ニ單行法ヲ作ル、或ハ此ノ林業會法ト一緒ニスルカシテ本當ニ誰ガ見テモ林業ノ方ノ組合ト森林組合ト云フモノヲ政府ガ同ジヤウナ氣持デ取扱ツテ居ラレノダト云フヤウニ考ヘラレヤウナ形ニサレルカ、ソレデナカツタ別ノ一ツノ立派ナ單行法ニスルト云フコトニ爲サツタ方ガ宜イノデヤナイカ、是モ關係者カラ申シマス云フト、恐ラク警察ノ取締ナドノ規則ノ一部ニボツツ人ツテ居ルト云フノハ何ダカ心細イヤウデ、一ツ立派ナモノガ出來ルト云フコトニナルト、矢張り氣モ乗ツテ來ル

ト云フヤウナ心理モ働クダラウカト思ヒマス、將來ドウセ御改正ニナラナケレバナラナイ不完全ナ法律ダト思ツテ居リマスカラ、サウ云フ機會ガアルナラバト云フコトデナクシテ、モウ此ノ次ノ臨時議會ニハ間ニ合ヒマセヌデセウガ、通常議會迄ニハ提案サレマスル位ニ御準備ナサル譯ニ行キマセヌデセウカ、一方サウキカラ申シマスヤウニ林業會法案ト云フモノガ、マダ皆様ノ御意見モアリマセウケレドモ、私何ダカ森林組合ト云フモノガ次男坊扱ヒ、三男坊扱ヒニサレテ居ルヤウニ世間デ考ヘ易イヤウナ形ニモナツテ居ルノデヤナイカト云フコトヲ考ヘマス

ト、或ハ更ニ此ノ案ヲモウ一遍此ノ次ノ機會ニヤリ直スカ、或ハ森林組合ヲ單行法トシテ又別ニシツカリシタモノヲ御出シニナルト云フコトノ必要ニ迫ラレテ居ルノデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマスガ、モウ少シ早目ニ一ツ如何デゴザイマセウカ

○政府委員(平川守君) 御指摘ノ通り森林團體ニ關シマスル法制ト致シマシテハ、今回ノ林業會法ハ必ズシモ完璧ノモノト考ヘテ居リマセヌノデアリマシテ、出來得ル限り速カナ機會ニ根本的ナ法規ヲ作りタイト斯様ニ考ヘテ居リマス、機會ガアリマスルナラバト申上ゲマシタガ、出來得ル限り速カニ左様ナ點モ考慮致シマシテ改正

案ヲ提出シタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○竹下豐次君 其ノ點ハサウ云フ風ニ御願ヒ致シマス、ソレカラ森林組合ガ今日迄發展シテ居ナイ理由ト致シマシテ、モウ一ツハ組合ト云フモノト森林ノ所有者ト云フ者ガ確ツカリ喰ヒ合ツテ居ナイヤウデアリマス、他ノ言葉ヲ使ヒマシナラバ、森林所有者ガ森林組合ナント云フモノハ餘計ナモノダ、斯ナモノハナイ方ガ増シダト云フ位ニ考ヘテ居ル所有者ガ非常ニ多イノデアリマス、ソレハ私ハ今日迄ノ經過ヲ見テ無理カラスコトダト思ツテ居リマスガ、此ノ組合ガ出來マシタノハ、實ニ申シマスヤウニ大體昭和十六年頃デアリマス、其ノ時ニ戰爭ノ關係デ木材ヲ供出サスルガ爲ニ、此ノ組合ヲ作ツタ、私ハ森林法ノ解釋ヲ正當ニ解釋スルナラバ、アノ法律ニ依ツテ伐採命令ヲスルト云フコトハ出來ナイ筈デアル、ソレヲ曲解力或ハ強ヒテ解釋サレタノカ、政府ノ方デハ矢張りアノ法律デ伐採命令ヲ出シテ居ル、所有者ハ戰爭中ノコトデアリマスカラ、何モ言ハズニ戰爭ニ勝タナケレバナラヌト云フ積リデヤツタ、組合ノ規約ヲ見ルト任意組合デス、事實ハ強制組合デアル、若シ入ラナカツタナラバ國賊ダト言ハレタモノデス、其ノ起リガ既ニ惡イ、マア其ノ當時デハ已ムヲ得ナイト云フモ

ノノ理窟ヲ言フナラバ、此ノ組合ノ成立ト云フモノハ非常ニ不自然デ、所有者ニ對シテハ非常ニ無理壓迫デ出來タ組合ナンドス、デスカラ私ハ理想的ニ言フナラバ、現在ノ組合ト云フモノハ民主主義ノ大方針ニ副ハナイ、副ハナイ方ノ模範的ナ組合デアル、是ハ解散スベシ、モウ一遍建直シテ本當ニ組合員ノ了解ノ下ニ出來タ民主主義ノ組合デナクテハ本當ノ運用ハ出來ナイデヤナイカ、是ガ私ハ理想ト思フノデス、併シ又考ヘテ見マスト、一遍アルモノヲ解散シテシマフト、又作ルト云フコトモ容易デナイ、殊ニサウ云フ風ナ惡イ感

ジヲ持ツテ居ルナラバナカ、出來ナイダラウト云フ心配モアル、出來ナイデ宜イカト云フト出來タ方ガ宜イダラウト私ナドハ思ヒマスカラ、無理ニ解散サシタ方ガ宜イト云フコト迄申上ゲルノデハアリマセヌケレドモ、理想ヲ述ベルナラバ左様ダト思ヒマス、解散シナイデ今ノモノヲ助長スル爲ニドウシタラ宜イカト云フ問題デスガ、ト云フノハ抽象的ノ言葉ニナリマスケレドモ、組合員ノ理解ヲ十分ナラシメルコトニ政府ノ方デ餘程御努力ニナル、ト云フコトハ、森林組合ノ役員ノ態度ヲ今迄ト違ハセル、マア具體的ニ申シマシナラバ例ヘバ山ヲ處分スルト云フヤウナ場合ニ、之ヲドウ處分シヨウト是ハ森林組合ノ方ノ權限ニ

ナツテ居ルノデ、所有者ノ方デハ何トモ言フコトガ出来ナイノダト云フヤウナ態度デ、所有者ニ臨ンデ居ル組合ガ相當ニアリマス、サウシテ無理ニ賣ラセテ置イテ、サウシテ其ノ四分ナリ五分ナリノ手數ヲ取ツテ、後ノ造林ハ世話シテ與レナイ、甚ダシキハ、森林組合ノ役員ガ林業者ノ手先ニナツテ居ルト云フヤウナ疑ヲスラ招クモノガナイデモナイ、是デハ森林所有者ガ、喰ヒ付イテ行ク筈ハナイデス、自分達ノ組合デアルカラ喰ヒ付クモ何モナイ譯デスガ、サウ云フノガ今日ノ狀態ダラウト思ツテ居リマス、ソレニハ私ハサウ云フ歴史ガアルト思フ、ダカラ此ノ歴史ヲ考ヘテ、スツカリ頭ヲ入レ替ヘルニハ、政府ノ方デモ、地方廳ノ方デモ、森林組合ノ方デモ努力ナサライ限リ持チ直サナイ、組合ノ努力ナクシテ組合ガ發展スルコトハ私ハ不可能ダト思フ、或ハ森林組合ガ其ノ後ノ供出、伐出、製材等ニ付テ、先ツキカラ申シマスルヤウニ業者カラ壓迫サレルト云フコトニナリマス、ソレ見タカト云フヤウナ冷カナ目デ見ル者モナイデモナイト思フ、今迄ノ狀態カラ見ルト云フト、森林所有者ハドツチガ勝ツテモ宜インダ、高ク賣レサヘスレバ宜インダト云フヤウナ立場ニアリマスノデス、サウ云フコトニナルデス、ソレデハ愈々森林組合ハイカヌト思フ、

併シドウシテモ森林組合ヲ立派ナモノニシナケレバナライ譯デアリマス、國土ノ保安ノ點カラ申シマス、格別ノ御骨折ヲ願ハナケレバナライト思ツテ居リマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○松尾國松君 幾ツモナクテモアウツモ宜イデスガ、一ツノ意見ガ繼續スルト云フコトデナク、又ソレハ政府ノ答辯ニ於テモ織込シテ戴イタ方宜クハナイカト、斯ウ思フノデアリマス

○政府委員(中尾勇君) 私ノ申シ

マシタノモソレトサウ違ハナイ意味ニ考ヘテ居リマシタノデスガ、里山ニ付テハ村ノ人々ノ農業經營ト密接ナ關係ガアル、從ツテ此ノ農業經營ニ十分役立ツヤウニ經營セシムル必要ガアル、併シ奥ノ方ハ林業經營ト云フ立場カラ考ヘナケレバナラヌカラ、細分ト云フコトハ考ヘラレナイ、又一方ニ於テ林業經營ノ立場カラ統一ナリツノ施業案、或ハ施業ト云フコトヲ考ヘル必要ガアル、現在ノ森林組合モ、森林法ノ規定モ、森林組合ニ對シテ斯ウ云フヤウナ意味デ施業ナリ或ハ施業案ノ編成ヲ行ハセリヤウニ出來テ居ル、斯ウ云フヤウナ御答辯デアツタト思ヒマス

○竹下豐次君 最後ニ、松ノ木ニ

蟲ガ非常ニ澤山ニ居リマスガ、九州ノ端カラ中國、東海道、鎌倉邊ノ松ノ木ガスツカリ枯レテ行キマスガ、何トカ其ノ邊ノ御研究ヲ確ツカリ徹底的ニヤツテ戴イテ今ノ中ニ食ヒ止メルコトニナラナイト云フト、松ノ木ハ日本ニナクナツテシマフノヂヤナイカト云フ所迄行キサウデアリマスガ、今差當リ良イ御案ガナイノカト思ツテ居リマスケレドモ、特ニ此ノ問題ハ確ツカリ學者邊リノ智慧ヲ御集メニナリマシテ、御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(中尾勇君) 只今ノ御意見御尤モト存ジマスルシ、從來

其ノ驅除ハ致シテ居ツタノデアリ

マスケレドモ、是モ徹底致シマセヌノデ、現在ノヤウナ狀況ニナリマシタコトハ甚ダ遺憾ナコトデアリマスガ、此ノ點御説ノ通り色々研究モ致シマス、又徹底的ニ驅除ヲ致スヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、從來驅除ノ方ニモ五十萬圓程度ハ支出致シテ居リマシタガ、來年度ハ大々的ニ驅除致シマス爲ニ只今相當ノ豫算モ編成致シテ居リヤウナ次第デアリマスノデ、御了承願ヒタイト思ヒマス

○竹下豐次君 サウシマススト其ノ

問題ハ技術的ニハ驅除ハ出來ルト云フコトニナツテ居ルガ、豫算ガ足りナカツタノデ今日迄事實上スルコトガ出來ナカツタト云フ問題ニナルノデゴザイマスカ

ノダケノ意味デスカ、或ハ沿海州トカ南洋材ト云フモノガ適當ニ含マレテ居ルカ、ドウナンデセウカ、需要者カラ申シマススト、家具類ニハ南洋材ガ欲シイトカ、色々業者ガ言ツテ居ルデスガ、サウ云フモノガ適當ニ輸入サレルカドウカト云フ點ヲ承リタイ

マツテ、持主ノ利害ヲ考ヘナイト云フヤウナヤリ方デアルトカ、サウデナクツテ矢張り山林ハ山林デ樹齡ヲ考ヘテ、或ハ地位等モ考ヘテ、是ハ原價ガ何ボニ付クト云フ風ニ下ノ方デ抑ヘルトカ、價格ノ形式ニ付テ何カモウ少シ合理的デナイト、我々需要者ノ立場カラ申シマススト、非常ナ不利ノ目ニ會フコトガ多クアル、後ホ下詳シク申上ゲタイト思ヒマスガ、一體價格形成ト云フモノハ、ドウ云フヤウニシテ今日迄ト云フモノガ決ツテ居ルカ承リタイ

ノ立木ノ方ノ價格ノ方モ十分參酌致シマシテ兩方ノ方面カラ計算致シマシテ出シテ居ルノデアリマス

○政府委員(中尾勇君) 外材ノ輸

入ヲ豫定シテ居リマスルモノノ中ニ、南洋材モ含シテ居リマスルシ、更ニ又「バルブ」材等ト致シマシテ北洋材等モ見込シテ居リマス

○竹中藤右衛門君 ソレカラ私ハ

需要者ノ立場カラ木材ノ價格ノ點ニ付テ伺ヒタイノデアリマスガ、只今竹下委員カラモ御質疑ガアツタヤウデアリマスガ、要スルニ山林ノ持主ト木材業者トガ相反スル立場ニ居ル譯デス、ソコデ山林ヲ持ツテ居ル人ノ説ヲ聽キマスルト、業者ノ爲ニヤツレテ叩カレルト云フコトヲ言ツテ居リマシタガ、多分其ノ意味ヂヤナカラウカト思フ、安ク叩カレテソレデ市場ノ相場ハ想像モ出來ヌヤウニ高イノデアルト云フ説ヲ常ニ聞クノデアアル、ソレデ山林ノ植林ナドガ賣ツタ値デハ到底出來ナイ、止メテ居ルト云フコトヲ常ニ聞クノデアリマス、ソコデ一體木材ナドト云フモノハ、ドウ云フヤウニシテ御決メニナツテ居ルカト云フコトヲ聽キタイ、詰リ唯先ツボッ抑ヘチ

○政府委員(中尾勇君) 價格ヲ決

定致シマスノハ只今御話モアリマシタノデスガ、大體木材ノ立木ノ價格、ソレカラモウ一ツハ大別致シマススト、其ノ木材ノ伐り出シマシ事業費ノ原價計算、此ノ兩方ノ仕組カラ考ヘテ致シテ居ルノデアリマス、立木ノ價格ノ方ニ於キマシテハ、大體今ノ地位ノ關係或ハ林相密度ノ關係、年數モ大體市場ニ出マス材デ、一番多イヤウナ五十年生程度ノモノヲ基礎ト致シマシテ價格ヲ計算致シマシテ出シテ居ルノデアリマス、事業費ノ方ハ大體人夫賃銀ガ基礎トナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ人夫賃銀ニ付キマシテモ、色々仕事ノ種類別ニ全國的ニ調査致シマシテ、大體平均ト認メラレルモノヲ取リマシテ計算致スト云フコトニナツテ居リマス、唯事業費ダケデナク其

ト、矢張り汽車ニ積メナイカラ自

己ノ必要ノモノニ切ルト云フコト
ニナリマスカラ、サウ云フモノガ
ドンナ高イモノカト云フコトハ御
想像出来ルダラウト思ヒマス、殆
ド市場性ヲ無視シテ業者が自己ノ
便宜ナモノダケヲ出スト云フ傾キ
ガテルノデアリマス、ソレハ價格
ノ決メ方ニ於テ非常ニ不合理ガ其
處ニアルノデアリナカト思ハレル
ノデアリマス、又我々ガ建築スル
上ニ於キマシテモ板類ト云フモノ
ハ殆ド全然ナシ、我々ハ來タモノ
ヲ製材シテ板ニ引カナケレバナ
ラス、サウ云ツタ處ニ不合理ガア
リマシテ、自ら都會デハ高ク付ク
ト云フ風ナコトガアル、今後サウ
云フコトガドウ云フ程度ニ是正セ
ラレルカト云フ點デスガ、我々業
者ト致シマシテハ、今日全ク都會
ニハ住宅ガ非常ニ不足致シテ居ル
原因ハ、矢張り非常ニ高ク、殊ニ
市場性ノナイモノガ出テ來ルカラ
製材ヲシテ之ヲ作ラナケレバナラ
ヌト云フヤウナコトデ、サウ云フ
點ガ集リマシテ大變高ク付クノデ
アリマス、ドウ致シマシテモ今後
ハ原料ヲ一ツ安ク致シテ多量ニ豐
富ニ出ルヤウニ、價格ノ方ハ日本
社トカ地本社ガ解散ニナツタノ
デ、當局ハ餘程善處シテ戴カナイ
ト、從來ノヤウナコトデハ非常ニ
需要者ハ迷惑スルノデアリマ
ス、此ノ點ニ付キマシテハ當局ト
致シマシテハ如何御考デアリマセ

ウカ

○政府委員(中尾勇君) 從來御説

ノヤウナ市場性ヲ無視シタヤウナ
製品ガ出テ參リマシタコトハ是ハ
甚ダ遺憾ニ存ズルノデアリマス
ガ、今回ハ此ノ林業會法案ニ依リ
マシテ自治的ナ團體ヲ作ツテ自治
的ニ統制シテ行クコトニナツテ居
リマスシ、又其ノ現物ノ取引ニ致
シマシテモ從來ノ日本社、地本社
デ一手ニ買取販賣致シテ居リマシ
タノヲ止メマシテ、大體消費地ノ
業者ト生産地ノ業者トデ、勿論途
中デ林業會ノ認證ハ受ケルコトニ
ナツテ居リマスガ、其ノ業者同志
ノ取引ト云フコトニ相成リマスル
ノデ、今後ハ斯ウ云フ點モ段々少
クナツテ來ルノデヤナカト云フ
風ニモ考ヘマスシ、尙政府ニ於キ
マシテモ今後ハ斯ウ市場性ヲ無視
シタモノノ出ルコトニ對シマシテ
ハ、斯ウ云フコトノナイヤウニ十
分指導ヲ致シテ行キタイト考ヘテ
居リマス

○竹中藤右衛門君

序デニ御伺ヒ

致シタイノデスガ、從ツテサウ云
フ見地カラ申シマス、需要者ガ
第三者ノ立場ニ立ツテサウ云フヤ
ウナ不公正、或ハ價格ノ不公正ヲ
申シマス、或ハ價格ノ不公正ヲ
防グト云フ建前ニ立ツノガ本筋デ
ナイカト思フ、此ノ第九條ノ語
「林業を営む者若しくは林業に密
接な關係を有する事業を営む者」
ト云フ意味ノモノニハ、我々消費

者ト云フモノヲ入レテ御考ニナツ

テ居ルノカ、ドウモ其ノ點ガ法文
ノ上デハハツキリ致シテ居リマセ
ヌガ、ドウ云フ風ニ當局ハ御考ヘ
ニナツテ居ルノデアリマセウカ

○政府委員(平川守君)

第九條ノ

第三號「林業に密接な關係を有
する事業を営む者」ト申シマスノ
ハ、御話ノ如ク主トシテ需要者ヲ
考ヘテ居リマシテ、上建或ハ木工
ト云フヤウナ需要者ヲ主トシテ考
ヘテ居リマス、其ノ需要者ノ聲ヲ
林業會ノ意向ニ反映セシムルト云
フ趣旨デアリマス

○子爵青木重夫君

先程伐採計畫

ニ付テ詳細御説明ガゴザイマシ
テ、年々三億五千萬石宛伐採スル
ト云フ御話デゴザイマシタガ、其
ノ中ノ木材ト薪炭ノ割合ヲ承リタ
イト思ヒマス、ソレカラ此ノ林業
會法案ハ伐ルコトバカリニ重點ヲ
置イテ、森林ノ育成ニ付テハ餘リ
言ツテ居リマセヌガ、是ハ森林組
合ノ仕事ニナツテ居ル關係モアリ
マスガ、斯様ニ伐採ヲシマス、十
數年經テバ森林資源ガ殆ド「ゼ
ロ」ニナル處ガアリマスガ、政府
ノ植林ニ對スル御計畫ヲ承リタイ
ト思ヒマス

○政府委員(中尾勇君)

伐採量ノ

三億五千萬石ノ内譯デゴザイマス
ガ、用材ト致シマシテ一億萬石、
ソレカラ薪炭材トシテ二億五千萬
石、是ハ立木ノ材積デゴザイマ
ス、御了承ヲ願ヒマス、ソレカラ

造林計畫デゴザイマスガ、御説ノ

通り此ノ造林ノ事業ハ速急ニ大々
的ニ行ハナケレバナラナイ重要ナ
ル事業デアリマスル爲ニ、政府ト
致シマシテモ、終戦後極力此ノ造
林方面ニ重點ヲ置キマシテ計畫ヲ
致シタノデアリマスガ、只今ノ計
畫ト致シマシテハ本年二十一年度
カラ以降五箇年間ニ二百七十二萬
町歩ノ造林ヲ致シマスコトニ計畫
ヲ致シテ居ルノデアリマス、此ノ
二百七十二萬町歩ノ中、國有林ノ
方ノ面積ガ約二十三萬町歩バカリ
デアリマス、ソレカラ官行造林デ
五萬町歩、是ハ公有林野ノ官行造
林デアリマス、其ノ他二百四十三
萬町歩餘ガ民有林ノ造林ニ相成ツ
テ居ル譯デアリマス、本年度ノ豫
定ハ其ノ中四十七萬町歩ヲ造林ス
ル豫定ニ致シテ居ルノデアリマ
ス、其ノ四十七萬町歩ノ内譯ヲ申
シマス、國有林デ三萬五千町
歩公有林野官行造林デ五千六百町
歩民有林ノ中造林證券ニ依リマス
助成ノ分ガ約二十八萬町歩、ソレ
カラ一般助成ニ依リマスル分ガ十
四萬七千町歩、合計デ約四十七萬
町歩ニ相成ルノデアリマス、是ダ
ケヲ本年度内ニ植栽スル豫定デア
ルノデアリマスルガ、之ニ要シマ
スル豫算ト致シマシテハ、大體證
券ニ依リマス分ト、一般助成ノ分
ハ、是ハ補助金ニ相成ツテ居リマ
スル爲ニ、助成ヲ致シマス金額ダ
ケヲ計上致シテ居ルノデアリマス

ガ、是デ總額約九千萬圓ヲ豫定致
シテ居リマス、併シ只今ノ人夫賃
銀カラ考ヘマス、此ノ九千萬圓
デハ到底不足ノ部面モアリマスノ
デ、ソレニ付キマシテハ追加豫算
ヲ要求致シマシテ、本年度豫定ノ
四十七萬町歩ハ是非完遂致シタイ
ト存ジマシテ、努力ヲ致シテ居リ
マス

○子爵青木重夫君

只今ノ御話ニ

依リマス、本年度豫算デ僅カニ
九千萬圓デ四十七萬町歩ノ造林ヲ
御計畫ニナツテ居リマスガ、是ハ
桁ガ一ツ違フ位ト申シマス、實
際ニハ此ノ十倍ナケレバ逆モ造林
ハ出來ナイト思ヒマス、今ノ豫算
デハ一町歩當リ二百圓餘リニシカ
ナリマセヌカラ、今後モツト豫算
ニ十分造林費ヲ御入レニナル御計
畫ハゴザイマセヌデセウカ

○政府委員(中尾勇君)

デハ只今

ノ點ヲモウ少シ詳シク申上ゲマ
ス、國有林ノ方ノ三萬五千町歩ト
申シマシタノニ對シマシテハ、四
千二百萬圓バカリノ豫算ヲ組ンデ
居リマス、ソレカラ公有林野官行
造林ノ五千六百町歩ニ對シマシテ
ハ約千六百萬圓程度ノ豫算ヲ計上
致シテ居リマス、ソレカラ證券ニ
依リ助成ノ分デアリマスガ、本年
度二十八萬町歩ヲ植栽致シマシタ
者ニ助成金ヲ交付致シマスノハ來
年度ノ豫算ニナルノデアリマス、
本年度ノ豫算ニハ含マレテ居リマ
セヌ、本年度ノ豫算ニ組ンデアリ

農林事務官 平川 守君

マスノハ千三百萬圓バカリデアリマスガ、是ハ前年度造林致シマシタ者ノ助成金デアルノデアリマス、此ノ二十八萬町歩ノ助成金ハ今申シマシタ九千萬圓ニハ含シテ居ナイノデアリマス、ソレカラ一般助成ノ方ガ十四萬七千町歩、之ニ對シマシテ千六百萬圓ノ豫算ヲ組ンデ居リマスガ、此ノ方ガ只今ノ入夫賃銀カラ致シマス不足ヲ致シマスノデ、先刻申上ゲマシタヤウニ、只今豫算追加ヲ要求中デアリマス

○子爵西大路吉光君 私議事進行ニ付テ一言致シタイト思ヒマスガ、是迄本法案ニ密接關係ノアリマスル事柄ニ付テ續々御質問ニナリマシテ大イニ傾聴致シタノデアリマス、本日ハ説明ヲ聽キ、ソレカラ質問ノ御方ハ續ケテ今迄ヤツテ居ラレタノデアリマスガ、政府トシテモ參考ノ書類モ出サレテ居リマスルシ、又日數モ凡ソ限リガアリマスノデ、成ルベク早ク切上ゲテシマハナケレバナラヌ、恐ラク明日、明後日位デ朝カラ夕方迄ヤツテデモ何トカ之ヲ捏ツテ上ゲナケレバナラヌト思ツテ居ルノデアリマスガ、就キマシテハ、本日ハ此ノ程度ニ切上ゲテ、明日、明後日ト朝カラ夕方迄續ケテヤツテ、此ノ法案ヲ仕上ゲルト云フコトニシタラ議事進行ノ上ニ宜シイカト思ヒマスノデ、其ノ事柄ニ付テ皆サンニ御諮リヲ願ヒタイト思

フノデゴザイマス

○委員長(子爵北條篤八君) 御諮リ致シマスガ、只今ノ西大路子爵ノ御動議ニ御異議ゴザイマセヌデセウカ

〔「異議ナシ」贊成」ト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵北條篤八君) ソレデハ今日ハ此ノ程度デ散會致シマシテ、明日午前十時カラ開會スルコトニ致シマス

午後二時五十七分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵北條 篤八君
委員

公爵三條 實春君
侯爵池田 宣政君
伯爵前田 利男君
子爵西大路吉光君
子爵加藤 泰通君
子爵青木 重夫君
白澤 保美君
小山 松吉君
男爵佐竹 義履君
男爵平山洋三郎君
男爵前島勘一郎君
竹下 豐次君
松尾 國松君
田部長右衛門君
竹藤中右衛門君
杉山 茂君
國務大臣
農林大臣 和田 博雄君
政府委員
農林技官 中尾 勇君

昭和二十一年十二月十二日印刷

昭和二十一年十一月十三日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局